

## 小中連携だより はじめの一步

平成29年 4月27日(木)  
名護中学校区 小中連携係

### ☆ ステージ I 「知る」

小学校・中学校の交流として、「公開授業」(経年研を含)の参観を行う予定です。

- ①小学校で行われる公開授業や経年研・校内研修の研究授業を中学校職員も参観
- ②中学校で行われる各教科の公開授業や経年研を小学校職員も参観
- ③上記①、②の参観が厳しい場合は、各学校の授業参観日に参観

(※名護小学校・名護中学校の校長先生・教頭先生には了承済みです)

授業を観ることで、学習内容の学びのつながりを実感し、子どもの育ちのつながり等を感じることがあると思います。お忙しい中ですが、学校校種間の授業参観をお願いします。なお、都合のつくときは、授業後の授業研究会にも参加して頂けると嬉しいです。

中学校の各教科の公開授業は、日程が決まり次第、この便りを通して、お知らせします。授業を参観する場合、前もつての連絡は必要ありませんので、気軽に参観にいらっしやってください。

※公開授業(数学) 5月10日(水) pm2:40～ 中学校1年生

### ☆ 新学習指導要領から見える「小中連携」

2017年3月に、新学習指導要領が告示されました。『第1章 総則』の中に、第1 小(中)学校教育の基本と教育課程の役割 ～ 第6 道徳教育に関する配慮事項 があります。

第2 教育課程の編成の中に「学校段階間の接続」とあり、これは、新設の項目です。「月刊教職研修5月号 小・中「学習指導要領」総則を読み解く」で、中央教育審議会の奈須正裕氏は、

小学校卒業後の接続では、高校までをも見通すよう求められている点が斬新であり、小学校教育のあり方を根本的に見直す視座ともなりうる。中学校に関しても同様の趣旨が示されており、小学校段階での学びや育ちを後の学校段階が丁寧に受け止めるという関係が明確に打ち出されている。

と述べています。

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が重要になることは、既にご存知の先生方も多いと思います。これは、第3 教育課程の実施と学習評価の中に示されています。



お忙しい中、「小中連携教育についてのアンケート」への御協力、ありがとうございました。集計後、結果をみなさんと共有したいと思います。

※前回の便りでは、研究所の研究者からの発行と記載しましたが、『小中連携』の研究指定は、学校全体で取り組んでいくという意向を受け、中学校区の小中連携係に訂正します。